

健康や母体の安全に影響を及ぼす債務取消および経済政策 Debt Cancellation and Other Economic Policies That Affect Health and Safe Motherhood



背景

この数十年間で、多くの開発途上国では債務を返済する必要があることの影響を受けて、保健医療の水準が低下した。これは、母親とその子どもの健康を含めた健康に悪影響を及ぼしている。債務は、今日我々の世界経済システムに内在するものであり、このシステムは貧しい国よりも富める国に有利に働く。この 20 年間は先進諸国の景気後退により、開発途上国からの輸出の需要が減少したために、開発途上国は生き残るために否応なく借金をし、そして高利率の返済を課されている。国外の債権者たちは、公益事業への支払を優先しているが、債務は増加しても減少しない。国際通貨基金と世界銀行は、借金を肩代わりする代わりに、貧困（および、それによる健康状態の悪化）を増大させる条件を課している。これらの条件は構造調整計画（SAPs）というもので、各国の政府に次のことを強要した：

- 保健医療や教育などのサービスに関する公的支出を大幅に削減する。
- 食料などへの政府補助金を削減する。
- 輸出を増加する（多くは、人々をその所有する土地から追い出す形で）。
- 人々が払えないほど、税金を増額する。

女性と子どもは特に、劣悪な栄養状態と生活環境、無料もしくは安価な保健医療や家族計画を利用できないことにより苦しんでいる。また女性と少女は、良好な健康状態であるための重要な鍵である教育を受ける機会も少ない。女性は、育児や授乳に時間をとることができない家庭の外で重労働をしなければならないために、疲弊しきっている。

1990 年代後半、国際機関からの批判を受け、SAPs の対象は、重債務貧困国（HIPC）の巨大債務の減少のために、貧困の削減と市民参加の増加を結びつける方法に移行した。しかしながら、これも実際の効果を上げるには不十分であり、いずれにしても、債務の取消だけでは貧困の永続的な減少につながらない。経済秩序、特に世界貿易のあり方に関する秩序が根本的に変革されないかぎり、単に債務が再び増え続けるだけである。

所信声明

国際助産師連盟は、セーフ・マザーフードを含めた健康増進のためには、貧困と不平等を解消する世界的な経済構造改革の重要な一環として、国際債務の完全な取消が必要であると確信している。健康とセーフ・マザーフードは、貧困と不平等を削減させる経済の実践と密接に結びついている。

見解

ICM は、多くの開発途上国において、債務の返済が母親と子どもの健康および保健医療に悪影響を与えていることを認識し遺憾に思う。41 の重債務国が所有する債務は、完全な取消が必要である。これは、開発途上国との貿易関係をより公正なものにすることも含めて、より幅広い経済構造改革プログラムの重要な一部分である。

会員協会への指針

会員協会は、完全な債務取消を目指した各地の組織活動に参加しなければならない。

関連文書

- Costello A, Watson F, Woodward D. *Human Face or Human Facade: Adjustment and the Health of Mothers and Children*. London: Institute of Child Health Occasional Paper, 1994.
- Medact. *Global Health Studies: Proposals for Medical and Nursing Undergraduate Teaching*. London, 2002.
- Nicaragua Solidarity Campaign. *Nicaragua: Debt Cancellation is just the beginning*. London, 2001.
- Sachs J. (Chair). *Macroeconomics and health: Investing in health for economic development*. Report of the Commission on Macroeconomics and Health, Geneva: World Health Organization, 2001. Available on whqlibdoc.who.int/publications/2001/924154550X.pdf
- International Monetary Fund. *Debt relief under the Heavily Indebted Poor Countries (HIPC) Initiative*. IMF Fact Sheet March 2008.
Available on www.imf.org/external/np/exr/facts/hipc.htm downloaded 31 07 08

2008年、グラスゴーでの国際評議会にて採択

次回の見直し予定：2014年

2009年12月 (社) 日本看護協会・(社) 日本助産師会・日本助産学会訳

All rights, including translation into other languages, reserved. No part of this publication may be reproduced in print, by photostatic means or in any other manner, or stored in retrieval system, or transmitted in any form without written permission of the International Confederation of Midwives. Short excerpts (under 300 words) may be reproduced without authorisation, on condition that the source is indicated and that the ICM be informed.

他の言語への翻訳権も含めて、この出版物は著作権を有しています。国際助産師連盟 (ICM) から文書による許諾を得ることなく、本書の一部または全部を何らかの方法で複製することや検索システムに登録することなど、一切の伝播を禁じます。ただし、短い引用 (300 語未満) に関して、許可は不要ですが、その場合は出典を明記し、ICM へご連絡ください。

Copyright © (2008) by ICM- International Confederation of Midwives,
Eisenhowerlaan 138, 2517 KN The Hague, The Netherlands